

4 / 25 (火) の発表

はじめよう、つづけよう。

「**新北海道スタイル**」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 4月25日(火) 11時00分

発表項目 (行事名)	有毒植物による食中毒の防止について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>山菜には、食用のものと区別が難しい有毒植物があり、毎年のように道内で食中毒が発生しています。特に野山での山菜採りに限らず、道内では自宅の庭等で採取した植物が原因となった事例が発生しています。</p> <p>保健所では、山菜による食中毒防止のため、食べられるか判断のつかない山菜は「採らない、食べない、売らない、人にあげない」の4つに注意するよう周知を図っています。</p> <p>また、「毒草ハンドブック」を保健所で配布するとともに、ホームページ上でも有毒植物による食中毒防止のための注意喚起を行っていますので、道民の皆様幅広く周知をお願いします。</p>		
参考	<ul style="list-style-type: none"> ・有毒植物による食中毒に注意しましょう ・毒草ハンドブック ・リーフレット 		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>保健環境部保健行政室生活衛生課長 木下 忍 TEL ダイヤルイン 0162-33-3705 (内線3700)</p> <p>担当者 食品保健係長 木戸 啓湖 TEL ダイヤルイン 0162-33-2545 (内線3714)</p>		

有毒植物による食中毒に注意しましょう！！

山菜の中には、有毒植物によく似たものがあり、区別が大変難しいものがあります。このため、毎年のように、春先には山菜と間違えて有毒植物を食べたことによる食中毒が発生しています。

山菜を食べる前には次の点に注意して、有毒植物の誤食による食中毒を防ぎましょう。

1 判断のつかない山菜は採らない。

食べられるかどうか判断のつかない山菜等は**採らない、食べない、売らない、人にあげない。**

2 種類ごとに持ち帰り、食べる前に再度確認をする。

山菜は、有毒植物と混生することがあります。**混ぜて採らないようにしましょう。**また、**料理する前にもう一度確認しましょう。**

3 食べて異常を感じたときは速やかに医師の診察を受ける。

植物によっては、**生命に関わる場合があります。**異常を感じたときは速やかに医師の診察を受けましょう。

人にあげた場合はそちらにも声をかけましょう。食べ残しは捨てないでおきましょう。

4 参考

(1) 有毒植物による食中毒事例（過去5年間（平成30年～令和4年））

発生年月日	発生場所	患者数	うち死者数	原因物質	備考
令和4年9月17日	旭川市	1	1	イヌサフラン	
令和4年5月22日	旭川市	3	0	スイセン	ニラと誤食
令和4年5月8日	岩見沢市	3	0	スイセン	
令和4年4月21日	小樽市	2	0	トリカブト(推定)	シャクと誤食
令和3年5月26日	小樽市	1	1	イヌサフラン	ギョウジャニンニクと誤食
令和2年5月31日	松前町	2	0	スイセン	ニラと誤食
令和2年5月8日	真狩村	1	0	スイセン	ギョウジャニンニクと誤食
令和2年5月5日	小樽市	1	0	イヌサフラン	ギョウジャニンニクと誤食
令和元年5月11日	苫小牧市	2	0	イヌサフラン(推定)	ギョウジャニンニクと誤食
平成31年4月25日	小樽市	2	0	トリカブト	コジャクと誤食
平成30年7月12日	帯広市	1	1	イヌサフラン	球根を喫食可能と誤認
平成30年4月22日	岩見沢市	2	1	イヌサフラン	ギョウジャニンニクと誤食

(3) 有毒植物別の食中毒発生状況（過去30年間 平成5年～令和4年）

植物の種類	件数	患者数	うち死者数	備考
イヌサフラン	13	21	8	ギョウジャニンニク、ミョウガと誤食
トリカブト	15	25	2	ニリンソウ、ヨモギと誤食
スイセン	12	39	1	ギョウジャニンニク、ニラと誤食
チョウセンアサガオ	4	14	0	アシタバ、モロヘイヤと誤食
ドクニンジン	2	2	0	シャクと誤食
ユウガオ	1	3	0	
バイケイソウ類	1	2	0	ギョウジャニンニクと誤食
クワズイモ	1	1	0	喫食可能と誤認
シャクナゲ	1	1	0	喫食可能と誤認
計	50	108	11	

(3) 「有毒植物による食中毒の注意喚起」関連情報

- ・北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課（「毒草ハンドブック」ダウンロード可能）
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kse/sho/tyu/kus/yuudokusyokubutsu.htm>
- ・北海道立衛生研究所
<https://www.iph.pref.hokkaido.jp/topics/yudokushokubutsu2/yudokushokubutsu2.html>
- ・厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html

毒

有毒植物に要注意

山菜狩りなどで誤って有毒な野草を採取し、食べたことにより、**食中毒**が発生しています。
有毒植物による食中毒で、**死者も発生**しています。

食用の野草と確実に判断できない植物は

絶対に

採らない! 食べない!

売らない! 人にあげない!

- ⚠ 家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。
- ⚠ 山菜に混じって有毒植物が生えていることがあります。山菜狩りなどをするときには、一本一本よく確認して採り、調理前にもう一度確認しましょう。

<食用と間違いやすい有毒植物の例>

スイセン 及び スノーフレーク



スイセン



スノーフレーク
(スズランスイセン)

【中毒症状】

食後30分以内で、吐き気、嘔吐、頭痛など。
(スイセンでは、悪心、下痢、流涎、発汗、昏睡、低体温などもある。)

【間違いやすい植物】

・ニラ など
(スイセンは、ノビルやタマネギにも間違われやすい)

バイケイソウ



芽出し期のバイケイソウ

【中毒症状】

嘔吐、下痢、手足のしびれ、めまいなどの症状が現れ、死亡することもある。

【間違いやすい植物】

・オオバギボウシ(ウルイ)、ギョウジャニンニクなど

イヌサフラン



【中毒症状】

嘔吐、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。
重症の場合は死亡することもある。

【間違いやすい植物】

(葉)
・ギョウジャニンニク
・ギボウシ と類似。
(球根)
・ジャガイモ
・タマネギ など

クワズイモ



クワズイモの根茎



クワズイモの葉

【中毒症状】

悪心、嘔吐、下痢、麻痺、皮膚炎など

【間違いやすい植物】

・サトイモ

野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！
見分けに迷ったら、食べないでください！

過去10年間の有毒植物による食中毒発生状況（平成25年～令和4年）

植物名	間違えやすい植物の例（「 自然毒のリスクプロファイル 」より）	事件数	患者数	死亡数
スイセン	ニラ、ノビル、タマネギ	65	216	1
ジャガイモ	※親芋で発芽しなかったイモ、光に当たって皮がうすい黄緑～緑色になったイモの表面の部分、芽が出てきたイモの芽及び付け根部分などは食べない。	17	313	0
チョウセンアサガオ	ゴボウ、オクラ、モロヘイヤ、アシタバ、ゴマ	10	28	0
バイケイソウ	オオバギボウシ、ギョウジャニンニク	21	44	0
クワズイモ	サトイモ	20	51	0
イヌサフラン	ギボウシ、ギョウジャニンニク、ジャガイモ、タマネギ	22	29	13
トリカブト	ニリンソウ、モミジガサ	8	15	1
コバイケイソウ	オオバギボウシ、ギョウジャニンニク	4	9	0
ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	4	4	0
観賞用ヒョウタン	ヒョウタン	4	21	0
ハシリドコロ	フキノトウ、ギボウシ	2	3	0
キダチタバコ	カラシナ、カラシ	1	3	0
ユウガオ	ヒョウタン ※ まれに高クルビタシン含量のユウガオによる中毒もある。苦みの強いものは摂食しない方がよい。	3	9	0
スノーフレーク	ニラ	2	5	0
ヒガンバナ	ニラ、ノビル、タマネギ	1	2	0
タガラシ	セリ	1	1	0
その他（タマスダレ、ヒメザゼンソウ、グロリオサ等）	注：グロリオサ	24	45	2 ^注
不明		4	23	0
合計		213	821	17

○ **毒キノコにも、ご注意ください！**

→ [毒キノコによる食中毒に注意しましょう](#)

○ **代表的な有毒植物及び毒キノコの特徴については**

→ [「自然毒のリスクプロファイル」](#)をご覧ください。

○ **一部地域で、山菜から基準値を超える放射性物質が検出されています。**

→ 山菜狩りをする場合は、

[放射性物質のモニタリング検査結果や出荷制限などの情報](#)をホームページ等で、確認してください。

→ 林野庁ホームページ「[山菜採取にあたっての留意点](#)」

自然毒のリスクプロファイル

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html



高齢者の誤食・中毒・死亡が多発！

その植物、有毒かも？

有毒植物を原因とする

食中毒患者の**約半数**が**60歳以上**です※

※ 平成30年～令和4年の植物性自然毒による患者年齢別発生状況
(キノコ及びジャガイモを除く。)



- × 植えた覚えのない植物は食べない
- × 観賞植物は有毒のものも！ 野菜と一緒に栽培しない
- × 山菜も危険！ 有毒植物が混じっていることがあります

**まちがいなく食用だと判断できない植物は
採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！**

野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を

有毒です 食べないで

食用と間違えやすい有毒植物の例

スイセン・スノーフレーク



スイセン



スノーフレーク
(スズランスイセン)

中毒症状

食後30分以内で、吐き気、嘔吐（おうと）、頭痛など。スイセンでは、悪心、下痢、流涎（りゅうぜん）、発汗、昏睡、低体温などもあります。

間違えやすい植物

ニラ、ノビル、タマネギ など

イヌサフラン



葉



球根

中毒症状

嘔吐（おうと）、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。重症の場合は死亡することもあります。

間違えやすい植物

《葉》 ギョウジャニンニク・ギボウシ
《球根》 ジャガイモ・タマネギ など

バイケイソウ

芽出し期のバイケイソウ



芽出し期のコバイケイソウ

中毒症状

嘔吐（おうと）、下痢、手足のしびれ、めまいなどの症状が現れ、死亡することもあります。

間違えやすい植物

オオバギボウシ（ウルイ）
ギョウジャニンニク など

グロリオサ



中毒症状

口腔・咽頭灼熱感、発熱、嘔吐（おうと）、下痢、背部疼痛などを発症し、臓器の機能不全などで、死亡することもあります。

間違えやすい植物

《根》 ヤマイモ

チョウセンアサガオ

チョウセンアサガオの葉と花



チョウセンアサガオの種



中毒症状

口の渇き、瞳孔の散大、意識混濁、興奮、麻痺、心拍数の増加 など

間違えやすい植物

《葉》 モロヘイヤ
アシタバ
《根》 ゴボウ
《種》 ゴマ など

トリカブト



中毒症状

食後10～20分以内で、口唇、舌、手足のしびれ、嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、不整脈、血圧低下、けいれん、呼吸不全に至って死亡することもあります。

間違えやすい植物

・ニリンソウ
・モミジガサ など

代表的な有毒植物の特徴は「[自然毒のリスクプロフィール](#)」をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

